

おしえて!



県民経済計算・県民所得



項目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27年度
福岡県 名目	2.2	-4.0	0.0	1.9	-0.6	-1.6	1.0	1.3	3.7
福岡県 実質	2.4	-3.8	0.6	3.0	0.3	-1.5	1.1	-1.0	2.1
全国 名目	0.3	-4.1	-3.4	1.4	-1.1	0.2	2.6	2.1	2.8
全国 実質	1.2	-3.5	-2.2	3.2	0.5	0.9	2.6	-0.4	1.3

みなさん、「県民経済計算」「県民所得」という言葉を聞いたことありますか？

TV、新聞などで今年1月—3月期の経済成長率は〇〇%の伸びだった。GDPは何兆円だった。といったことを耳にする機会があると思います。これは、内閣府が我が国全体の経済の規模や成長率を「国民経済計算」として発表しているもので、この県版が「県民経済計算」にあたります。

この「県民経済計算」は、経済成長率だけでなく、県内の各産業の経済活動の状況、家計や企業の所得の状況、県内の家計や企業、公的部門の消費や資本形成など、県内の経済活動を多面的に捉え、あらわした県内経済の総合指標とみることができます。

このリーフレットでは、「県民経済計算」のしくみや用語を、できるだけわかりやすくまとめたものです。

それでは、エコトン、博士といっしょにみてみましょう。

博士、よろしくお願ひします

うん、しっかり勉強するんじゃよ



県民経済計算ってなに？

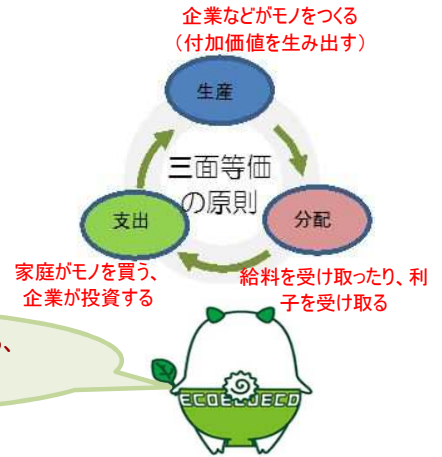
経済を測るモノサシなんじゃよ

私たちは、日々経済活動を営んでモノやサービスを生産し、新たな価値（付加価値）を作り出しています。こうした「県民」の「経済」活動の成果を「計算」したものが、県民経済計算です。県民経済計算では、この付加価値を「生産」、「分配」、「支出」の側面から把握しており、県経済の実態を測る総合的な物差しであると言えます。



経済の循環と三面等価の原則

生産活動によって新たに生み出された付加価値は、生産要素（土地、労働、資本）の提供者に分配され、分配された所得は家計による消費や政府・企業の投資に支出されます。このように、経済活動は「生産」「分配」「支出」という循環を繰り返していますが、これらは同一の価値を異なる3側面でもらえたものであり、理論的には一致することになります。これを、三面等価の原則といいます。



県民経済って、3つの側面から、みるのか・・・。

県民経済計算で・・・

何がわかるの？

- 県の経済規模、経済成長率
- 産業構造
- 所得の水準や分配の状況
- 家計の消費や企業の設備

何に使える？

- 諸計画の前提条件
- 経済実績の評価、分析
- 行財政施策の基礎資料
- 国・他県の比較など

いつ、わかるの？

- 約2年後
 県民経済計算は、多くの一次統計の公表後に推計作業を行うため、公表まで時間を要します。

経済活動別県内総生産(名目) (平成27年度)

(単位: 億円、%)

項目	実数	対前年度増加率	構成比
1 農業	1,090	0.4	0.6
2 林業	61	-4.3	0.0
3 水産業	215	28.0	0.1
(第1次産業計)	1,365	3.7	0.7
4 鉱業	93	-0.5	0.0
5 製造業	28,844	9.0	15.3
6 建設業	9,760	-2.4	5.2
(第2次産業計)	38,698	5.9	20.5
7 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	5,058	26.1	2.7
8 卸売・小売業	26,804	5.1	14.2
9 運輸・郵便業	12,465	0.7	6.6
10 宿泊・飲食サービス業	5,222	4.0	2.8
11 情報通信業	10,449	2.3	5.5
12 金融・保険業	6,811	1.1	3.6
13 不動産業	21,222	1.7	11.3
14 専門・科学技術・業務支援サービス業	15,546	4.4	8.2
15 公務	8,175	-0.2	4.5
16 教育	8,424	1.3	4.6
17 保健衛生・社会事業	17,787	4.7	9.3
18 その他のサービス	9,196	0.5	5.0
(第3次産業計)	147,159	3.4	78.0

生産面

持ち家を市中の家賃で評価した場合の
 帰属家賃も含む

国、県、市町村など

県内で生産された付加価値の総額



自動車など「ものづくり」が中心の県だと思ってたけど第2次産業より、小売業や各種サービスなどの第3次産業が圧倒的に金額が大きいんだね。

うん。第3次産業は、全国的にもだんだん比率が大きくなってきているんじゃ。



(平成27年度)

現物給付、私たちが受
近い概念

分配面

(側) (平成27年度)



「名目？・実質？」いろんな難しい言葉でいっぱいだね、博士。
ボク、もっと調べてみるよ。

いいことに気付いたね。簡単に言うと「実質」とは
物価の上がり下がりといった変化を取り除いた値なんじゃ。
ほかに、分からない言葉はどんどん調べてみるんじゃな。



●「名目値」と「実質値」

名目値とは、物価変動の含まれている年々の時価で評価したものです。一方、実質値とは、名目値の物価変動分を取り除いた値であり、いいかえればある基準年次の物価を評価基準とする価格として表わしたものです。

●「持ち家」

持ち家に住んでいる人は、家賃こそ支払っていませんが、借家に住んでいる人同様に住宅サービスを受けています。その持ち家の住宅サービスを、市中の家賃で評価したものを帰属家賃といいます。持ち家に住んでいる人は、自ら不動産業を営み、自ら家賃を払っていると仮定したものです。

●政府最終消費支出

一般政府による財貨・サービスの産出額は、雇用者報酬、中間消費、固定資本減耗といった生産費用の積み上げにより計算しています。

この産出額から回収したコスト（国立学校の授業料など）や一般政府自身の総固定資本形成に充てられる部分を差し引いた分に、医療保険給付などの家計への現物給付を加算したものが政府最終消費支出となります。

●「帰属計算」

実際に取引がなくても、統計上あたかも取引が行われたように記録する方法です。

●対家計民間非営利団体

政府サービス生産者と類似していますが、個人の自発的な意思に基づく団体として組織され、教育などの公共的なサービスを供給する団体です。

その活動資金は会員からの会費や寄付、財産収入によっているのが特徴です。

例として、私立学校、私立の社会福祉施設、労働組合、政党、宗教団体などがあげられます。

県内総生産（生産側）と県内総生産（支出側）との数値のずれのことをいいます。両者は、概念上一致すべきもの

